

- 2026 UCI BMX Racing World challenge Race Report -

日時:7月24日

場所:オーストラリア,ブリスベン

天気:晴れ

参加カテゴリー:Boys15

参加人数:93人

結果:予選1-1-1 1/8決勝6位敗退



【練習1日目（練習時間1時間20分）】

世界選手権の練習は人数がものすごく多い為、走れる本数が物凄く少ないです。なので今回の練習は4本で見積もって予定していました。1本目は身体を動かしながらコブの形を確認する。2本目は第2ストレートの1個目の大きいロールの確認とリズムセクションの練習、3本目はスタートから第2ストレートの最後までハーフラップ、最後4本目スタートからゴールまでフルラップという予定を立てました。

初めて走るコースなので1本目は7割ぐらいの力でコブの形とコーナーの形状の確認を行いました。この日は異常な程に風が強かったため、大きいセクションでの練習は転倒のリスクが高いと判断し、細かいセクションの練習に力を入れました。

2本目は、リズムセクションのこなし方とライン取りの確認をしました。

3本目はスタートと第3ストレートからゴールまで全力で走りました。

4本目は、3本目と違うライン取りで第3ストレートからゴールまで全力で走りました。

今回の練習は予定していたより風が強く、転倒のリスクが高い為、大きいセクションの練習ができないと思い、練習中にコーチにレースの日と、次の日の練習の天気予報を確認してもらい、両2日間とも風が弱い事がわかったので小さいセクションの練習に切り替えました。なぜ直ぐに風が強いだけでやめようと判断しなかったかという、オーストラリアに着いてから風が強い日が続いていて、このままレースも風が強かったらその為にちゃんと練習しておかないといけないなと思い確認してから切り替えました。

【コースを走ってみて、練習をしてみたの感想】

ミスをしなければ、勝手にどんどんスピードが上がっていくコースなんだなと感じました。

リズムセクションのキーポイントは2つ。



1つ目は、前半の方のダウンロールでしっかり蹴って加速できるかどうか。この加速でリズムセクションのスピードが決まると感じた。

2つ目はアマセクションとプロセクションのラインが切れてから、どれだけ早く内側に行けるか、ジャンプで内側にしっかり切り込んでいけるかがキーになってくるとこの練習で感じました。

次の日の練習ではこの日にできなかった、大きいセクションを中心に練習しようと思いました。

【練習2日目（練習時間1時間20分）】

この日は予定通り風が弱い日だったので大きいセクションでの練習を重点的にやろうと予定を立てました。前日にコースの形はある程度理解しているのでこの日は1本目から全力で走る事ができました。

1本目は第2ストレートを全力のスピードで走って1個目のダウンロールの練習をしました。しっかり体勢を低くして入ればできることがわかったのでレースのどの場面でも焦って早めに押す事がないように意識しようと思いました。

2本目はスタートから、第2ストレートの最後までハーフラップをしました。

第1ストレートの2個目のタップで前重心で蹴りすぎたため、思いっきり前輪から引っかかってしまい危うく転ける所でした。ですがやってみて若干後ろ気味で蹴れば全然届きそうだったので、次の一本はそれを意識してやってみました。

3本目は2本目と同様ハーフラップをしました。若干後ろ重心で蹴ってみたら第1ストレートの2個目のタップがうまく決まったのでレースもこの意識のまま、このこなしで行こうと思いました。

最後、4本目はスタートから第3ストレートの最後まで全力で走りました。ミスなくスムーズにこなせたので、レースに向けての自信になりました。

ただ、スタートで前輪が若干浮いているかなと感じたのでレース前、他のコースに練習に行ったときに調整しようと思いました。



【レース当日練習】

レースの当日練習はある程度自分がこのコースを走れている感覚があったので最終確認でハーフラップ1本ずつを練習して終わりました。練習日に見つけた意識を元に第1ストレートの2個目のタップや第2ストレートのダウンロールが上手くできたのでよかったです。ただ、最終ストレートのもたつきが目立つので、レースは何があっても焦らずに走ることを心がけようと思いました。

【レース当日】

予選1本目

去年世界選手権に出てないということもあり1本目は少し緊張感を持ってスタートに立っていました。

スタートして第1ストレートを1位で抜け、第2ストレートの1個目のダウンロールが上手く決まりました。第3ストレートの最後までは目立ったミスはなくいけましたが、最終ストレートで前輪が引っかかってしまい危うく転倒してしまいそうでしたが、1位でゴールしました。レースになって若干焦りが出ているので、2本目以降はもっとリラックスして挑みたいと思いました。



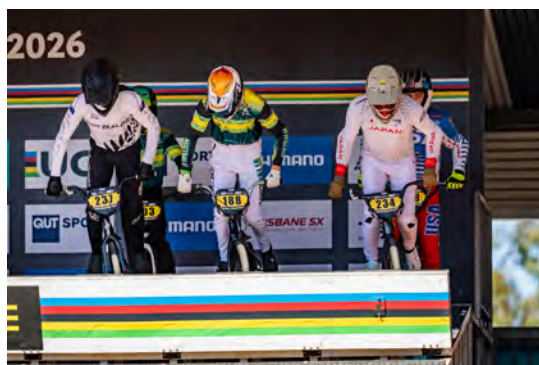
予選2本目

スタートはうまく行きましたが、第1ストレートで前に出られてしまい、第2ストレートの1個目のミスもありそのまま追いつくことなく離されていく一方で2位でゴールしました。こんなに離されて追いつけずにゴールしたのがここ最近では無かったので悔しかったです。ですがいま落ち込んでも仕方ないと思ったので気持ちを切り替えて3本目に挑もうと思いました。



予選3本目

3本目は去年のW2と同じmotoでした。この子は2022年からの友達でもあるので、レースが始まるまでずっと一緒に色んな話をしました。その会話の中で英語上手くなったねって言われたのがめっちゃ嬉しかったです。この子はスタートが得意ではないのでスタートを決めれば前に出れると思っていたのでスタートを特に気合を入れていきまいた。ですがその気合いが空回りしてしまい少しスタートが浮いてしまいました。その結果前に入る事ができず3位で第1ストレートを終え、その後もなにもできずそのまま3位でゴールしました。



1/8決勝

スタートした瞬間に両脇の選手とぶつかってしまいこのままでは転けてしまうと思い一旦引きしました。

5位で第1ストレートを抜けてあと1人抜けば上がる展開でした。第1コーナーを開けてパッと前を見た時に内側がだいぶ詰まっていたのでこれは絶対に抜けると思い、外側から抜きにかかりました。

第2ストレートの1個目のこなしが過去一うまくいき、今までで一番スピードがある状態でした。

そして1人を抜いて内側に入ろうと思いましたが、前の人の後輪が自分の前輪と重なっていた為、あまり内側に切り込めませんでした。その結果、第2コーナーで内側から入られ、外に追いやられて自分の走るところが完全になくなってしまったのでブレーキをしました。そこでもう1人に抜かれて6位になってしまいました。ですが、最後まで何があるかわからないので最後まで全力で走りましたが誰も抜くことが出来ずそのまま6位で今年の世界選手権が終わってしまいました。

【レースを終えて】

今年の世界選手権は完全に海外のトップに比べて自分の成長度が全然足りませんでした。完全に自分の力不足です。今まで世界選手権に今回合わせて5回出場しましたが、決勝に残れなかったのは今回が初めてです。自分の力を過信していたわけでは一切ないのですが、負けた瞬間は悔しいという気持ちより、もう終わってしまったという、信じられない気持ちが大きかったです。今回の世界選手権は今までで一番自分の記憶に強く残る悔しくて辛いレースでした。応援して頂いた皆様の期待に応えられずに申し訳ない気持ちでいっぱいです。来年の世界選手権までに誰よりも努力して人の倍成長できるように、世界のトップに戻れるように頑張ります。

今回は残念な結果になってしまいましたが、この経験を糧に引き続き頑張っていきますので、これからも応援よろしくお願いします。

